

担当者メモ

栄典事務担当者メモ
(確認票)

令和2年7月

国税庁人事課考査係

目 次

春秋叙勲候補者推薦確認票（納税）	1
春秋叙勲候補者推薦確認票（税理士）	2
春秋叙勲候補者推薦確認票（酒類業：酒造）	3
春秋叙勲候補者推薦確認票（酒類業：卸売・小売）	4
春秋叙勲候補者推薦確認票（元職）	5
褒章候補者推薦確認票（納税）	6
褒章候補者推薦確認票（税理士）	7
褒章候補者推薦確認票（酒類業）	8
高齢者叙勲候補者推薦確認票（元職）	9
死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（納税）	10
死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（税理士）	11
死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（酒類業：酒造）	12
死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（酒類業：卸売・小売）	13
死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（元職）	14

春秋叙勲候補者推薦確認票（納税）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	年 齢	発令日現在の年齢が70歳以上か。		発令日：春 4月29日 秋 11月 3日
2	推 薦 基 準	①		①～⑤のすべてを満たすこと。
		②		
		③		
		④		
		⑤ 褒章受章者は褒章受章後5年を経過しているか。		
2	基 格 準 付	①		
		②		
		③		
		④		
3	褒 章 関 連			について不明な場合は庁人事課に確認する。
4	推 薦 時 期	候補者が現職の場合、役職の継続等により上位の勲等に格付される見込みはないか。		上位の勲等が見込まれる場合は、推薦を保留すべきかよく検討する。
5	辞 退 の 可 能 性	風評等により候補者に辞退の意思があることが確認されないか。		辞退の可能性がある場合は推薦を保留するとともにその事績を残しておく。
6	栄 典 協 議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。
7	栄 典 授 与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関係する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
8	事 前 連 絡 対 象 者	次の「事前連絡を要する者」に該当しないか。 ① 旭日（瑞宝）大授章を希望する候補者 ② 新しい分野の候補者 ③ 過去において賞勲局へ書類提出後、取り下げ又は辞退等をしたことのある候補者 ※ 内示後辞退又は取り下げた場合は、原則として3年間は推薦できないので注意する。 ④ 再叙勲を希望する候補者 ⑤ 栄典授与不適格者に該当する者を推薦する場合 ⑥ その他（基準や先例に照らし問題があると思われるもの等）		該当する場合は、庁人事課に連絡する。
9	提 出 書 類	刑 罰 調 査 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 正本：2部 写し：1部
		戸 籍 前 叙	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する） 兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功 績 調 査 書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。	
		審 査 票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。	
		10	連 絡 事 項 等	

春秋叙勲候補者推薦確認票（税理士）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	年 齢	発令日現在の年齢が70歳以上か。		発令日：春 4月29日 秋 11月 3日
2	推 薦 基 準	①		①～③のすべてを満たすこと。
		②		
		③ 褒章受章者は褒章受章後5年を経過しているか。		
	付	①		
		②		
		③		
		④		
3	褒章関連			について不明な場合は庁人事課に確認する。
4	推薦時期	候補者が現職の場合、役職の継続等により上位の勲等に格付される見込みはないか。		上位の勲等が見込まれる場合は、推薦を保留すべきかよく検討する。
5	辞 退 可 能 性	風評等により候補者に辞退の意思があることが確認されないか。		辞退の可能性がある場合は推薦を保留するとともにその事績を残しておく。
6	栄典協議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。
7	栄典授与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
8	事 前 連 絡 対 象 者	次の「事前連絡を要する者」に該当しないか。 ① 旭日（瑞宝）大綬章を希望する候補者 ② 新しい分野の候補者 ③ 過去において賞勲局へ書類提出後、取り下げ又は辞退等をしたことのある候補者 ※ 内示後辞退又は取り下げた場合は、原則として3年間は推薦できないので注意する。 ④ 再叙勲を希望する候補者 ⑤ 栄典授与不適格者に該当する者を推薦する場合 ⑥ その他（基準や先例に照らし問題があると思われるもの等）		該当する場合は、庁人事課に連絡する。
9	提 出 書 類	刑 罰 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 正本：2部 写し：1部
		戸 籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）	
		前 叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功 績 調 書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。	
	審査票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。		
10	連絡事項等			

春秋叙勲候補者推薦確認票（酒類業：酒造）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	年 齢	発令日現在の年齢が70歳以上か。		発令日：春 4月29日 秋 11月 3日
2	推 薦	①		①～④のすべてを満たすこと。
		②		
		③		
		④ 褒章受章者は褒章受章後5年を経過しているか。		
	基 準 付	①		
		②		
		③		
		④		
3	褒章関連			について不明な場合は庁人事課に確認する。
4	推薦時期	候補者が現職の場合、役職の継続等により上位の勲等に格付される見込みはないか。		上位の勲等が見込まれる場合は、推薦を保留すべきかよく検討する。
5	辞 退 の 可 能 性	風評等により候補者に辞退の意思があることが確認されないか。		辞退の可能性がある場合は推薦を保留するとともにその事績を残しておく。
6	栄典協議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。
7	栄典授与不適格者	候補者又は候補者に関係する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
8	事前連絡対象者	次の「事前連絡を要する者」に該当しないか。 ① 旭日（瑞宝）大授章を希望する候補者 ② 新しい分野の候補者 ③ 過去において賞勲局へ書類提出後、取り下げ又は辞退等をしたことのある候補者 ※ 内示後辞退又は取り下げた場合は、原則として3年間 は推薦できないので注意する。 ④ 再叙勲を希望する候補者 ⑤ 栄典授与不適格者に該当する者を推薦する場合 ⑥ その他（基準や先例に照らし問題があると思われるもの等）		該当する場合は、庁人事課に連絡する。
9	提出書類	刑 罰 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 正本：2部 写し：1部
		戸 籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）	
		前 叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功 績 調 査 票	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。	
10	連絡事項等			

春秋叙勲候補者推薦確認票（酒類業：卸売・小売）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	年 齢	発令日現在の年齢が70歳以上か。		発令日：春 4月29日 秋 11月 3日
2	推 薦 ス	①		①～④のすべてを満たすこと。
		②		
		③		
		④ 褒章受章者は褒章受章後5年を経過しているか。		
	基 格 準 付	①		
		②		
		③		
		④		
3	褒章関連			について不明な場合は庁人事課に確認する。
4	推薦時期	候補者が現職の場合、役職の継続等により上位の勲等に格付される見込みはないか。		上位の勲等が見込まれる場合は、推薦を保留すべきかよく検討する。
5	辞 退 可 能 性	風評等により候補者に辞退の意思があることが確認されないか。		辞退の可能性がある場合は推薦を保留するとともにその事績を残しておく。
6	栄典協議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。
7	栄典授与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関係する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
8	事前連絡 対 象 者	次の「事前連絡を要する者」に該当しないか。 ① 旭日（瑞宝）大綬章を希望する候補者 ② 新しい分野の候補者 ③ 過去において賞勲局へ書類提出後、取り下げ又は辞退等をしたことのある候補者 ※ 内示後辞退又は取り下げた場合は、原則として3年間は推薦できないので注意する。 ④ 再叙勲を希望する候補者 ⑤ 栄典授与不適格者に該当する者を推薦する場合 ⑥ その他（基準や先例に照らし問題があると思われるもの等）		該当する場合は、庁人事課に連絡する。
9	提出書類	刑 罰 調 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 正本：2部 写し：1部
		戸 籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）	
		前 叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功 績 調 書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。	
		審 査 票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。	
10	連絡事項等			

春秋叙勲候補者推薦確認票（元職）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	年 齢	発令日現在の年齢が70歳以上か。		発令日：春 4月29日 秋 11月 3日
2	推 薦 基 準	①		①～③のすべてを満たすこと。
		②		
		③		
3	懲戒処分等	懲戒処分（免職・停職・減給・戒告）を受けていないか。		懲戒処分を受けている者は推薦不可。 [redacted]を推薦する場合は庁人事課に相談する。
4	休 職 期 間			兵役による休職は除く。 [redacted]
5	辞 退 の 性 能	風評等により候補者に辞退の意思があることが確認されないか。		辞退の可能性がある場合は推薦を保留するとともにその実績を残しておく。
6	栄 典 授 与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
7	事 前 連 絡 対 象 者	次の「事前連絡を要する者」に該当しないか。 ① 旭日（瑞宝）大綬章を希望する候補者 ② 新しい分野の候補者 ③ 過去において賞勲局へ書類提出後、取り下げ又は辞退等をしたことのある候補者 ※ 内示後辞退又は取り下げた場合は、原則として3年間 は推薦できないので注意する。 ④ 再叙勲を希望する候補者 ⑤ 栄典授与不適格者に該当する者を推薦する場合 ⑥ その他（基準や先例に照らし問題があると思われるもの等）		該当する場合は、庁人事課に連絡する。
8	提 出 書 類	刑 罰 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 正本：2部 写し：1部
		戸 籍 前 叙	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する） 兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功 績 調 査 票	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。	
		審 査 票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。	
9	連 絡 事 項 等			

褒章候補者推薦確認票（納税）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	年 齢	発令日現在の年齢が60歳以上か。		発令日：11月 3日
2	推 薦 基 準 授 給	①		①～④のすべてを満たすこと。
		②		
		③		
		④		
3	叙 勲 関 連		番号を記入	
4	辞 退 の 性 能	風評等により候補者に辞退の意思があることが確認されないか。		辞退の可能性のある場合は推薦を保留するとともにその事績を残しておく。
5	栄 典 協 議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。
6	栄 典 授 与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関係する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
7	事 前 連 絡 対 象 者	次の「事前連絡を要する者」に該当しないか。 ① 新しい分野の候補者 ② 過去において賞勲局へ書類提出後、取り下げ又は辞退等をしたことのある候補者 ※ 内示後辞退又は取り下げた場合は、原則として3年間は推薦できないので注意する。 ③ 再叙勲を希望する候補者 ④ 栄典授与不適格者に該当する者を推薦する場合 ⑤ その他（基準や先例に照らし問題があると思われるもの等）		該当する場合は、庁人事課に連絡する。
8	提 出 書 類	刑 罰 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 正本：2部 写し：1部
		戸 籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）	
		前 叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功 績 調 査 票	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。	
9	連 絡 事 項 等			

褒章候補者推薦確認票（税理士）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考	
1	年 齢	発令日現在の年齢が60歳以上か。		発令日：11月 3日	
2	推 薦 基 準	①	[Redacted]	①～③のすべてを満たすこと。	
		②			
		③			
		④			④、⑤のいずれも満たすこと。
		⑤			
3	叙 勲 関 連	番号を記入	[Redacted]		
4	辞 退 の 可 能 性	風評等により候補者に辞退の意思があることが確認されないか。		辞退の可能性がある場合は推薦を保留するとともにその事績を残しておく。	
5	栄 典 協 議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。	
6	栄 典 授 与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。	
7	事 前 連 絡 対 象 者	次の「事前連絡を要する者」に該当しないか。 ① 新しい分野の候補者 ② 過去において賞勲局へ書類提出後、取り下げ又は辞退等をしたことのある候補者 ※ 内示後辞退又は取り下げた場合は、原則として3年間 は推薦できないので注意する。 ③ 再叙勲を希望する候補者 ④ 栄典授与不適格者に該当する者を推薦する場合 ⑤ その他（基準や先例に照らし問題があると思われるもの等）		該当する場合は、庁人事課に連絡する。	
8	提 出 書 類	刑 罰 調 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 正本：2部 写し：1部	
		戸 籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）		
		前 叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。		
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。		
		功 績 調 書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。		
		審 査 票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。		
9	連 絡 事 項 等				

褒章候補者推薦確認票（酒類業）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	年 齢	発令日現在の年齢が60歳以上か。		発令日：11月 3日
2	推 薦 基 準	①	[Redacted]	①～③のすべてを満たすこと。
		②		
		③		
		④		④、⑤のいずれも満たすこと。
		⑤		
3	叙 勲 関 連	[Redacted]	番号を記入	[Redacted]
4	辞 退 の 可 能 性	風評等により候補者に辞退の意思があることが確認されないか。		辞退の可能性がある場合は推薦を保留するとともにその事績を残しておく。
5	栄 典 協 議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。
6	栄 典 授 与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関係する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
7	事 前 連 絡 対 象 者	次の「事前連絡を要する者」に該当しないか。 ① 新しい分野の候補者 ② 過去において賞勲局へ書類提出後、取り下げ又は辞退等をしたことのある候補者 ※ 内示後辞退又は取り下げた場合は、原則として3年間は推薦できないので注意する。 ③ 再叙勲を希望する候補者 ④ 栄典授与不適格者に該当する者を推薦する場合 ⑤ その他（基準や先例に照らし問題があると思われるもの等）		該当する場合は、庁人事課に連絡する。
8	提 出 書 類	刑 罰 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 正本：2部 写し：1部
		戸 籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）	
		前 叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功 績 書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。	
		審 査 票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。	
9	連 絡 事 項 等			

高齢者叙勲候補者推薦確認票（元職）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	年 齢	発令日現在の年齢が88歳以上か。		発令日：誕生月の翌月1日 (1日生まれの者は誕生日=発令日)
2	推薦基準	ベース	4G以上の官職の経験者で春秋叙勲未受章者	
		勲 等	① 3G該当の場合 ② 4G該当の場合	
3	懲戒処分等	懲戒処分（免職・停職・減給・戒告）を受けていないか。		
4	休 職 期 間			兵役による休職は除く。
5	辞 退 の 可 能 性	風評等により候補者に辞退の意思があることが確認されないか。		辞退の可能性がある場合は推薦を保留するとともにその事績を残しておく。
6	栄 典 授 与 の 不 適 格 者	候補者又は候補者に関係する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
7	提出書類	刑 罰 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 審査票 2部 その他 正本：2部 写し：1部
		戸 籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）	
		前 叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功 績 書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。	
		審 査 票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。	
8	連絡事項等			

死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（納税）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考	
1	推 薦 基 準	ベ ー ス 格 付	①	[Redacted]	①～④のすべてを満たすこと。
			②		
			③		
			④		
	1	格 付	①	[Redacted]	[Redacted]が あるため、庁人事課に相談すること（[Redacted]）。
			②		
			③		
			④		
2	死亡原因	「推定死亡」に該当しないか。 交通事項、自殺、水死等、死亡原因に異常はないか。		推定死亡の場合は死亡診断書、死亡状況書の提出を要する。 死亡状況を確認するとともに新聞記事等の情報を入手し、庁人事課に推薦の可否について相談すること。	
3	受章確認	遺族に受章の諾否を確認したか。		遺族が断った場合は推薦しない。	
4	栄典協議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。	
5	栄典授与不適合者	候補者又は候補者に関する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。	
6	提出書類	刑罰書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。		提出部数 審査票：2部 その他 正本：3部（叙位のみ場合は2部） 写し：1部
		戸籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）		
		前叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。		
		履歴書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。		
		功績書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。		
		審査票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。		
7	連絡事項等				

死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（税理士）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考	
1	推 薦 基 準	ス べ	① ②	①、②のいずれも満たすこと。	
		格	① ②		
	付	③			
		④			
2	死 亡 原 因	「推定死亡」に該当しないか。 交通事故、自殺、水死等、死亡原因に異常はないか。		推定死亡の場合は死亡診断書、死亡状況書の提出を要する。 死亡状況を確認するとともに新聞記事等の情報を入手し、庁人事課に推薦の可否について相談すること。	
3	受 章 確 認	遺族に受章の諾否を確認したか。		遺族が断った場合は推薦しない。	
4	栄 典 協 議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。	
5	栄 典 授 与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。	
6	提 出 書 類	刑 罰 調 査 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。		提出部数 審査票：2部 その他 正本：3部（叙位のみ場合は2部） 写し：1部
		戸 籍 前 叙	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する） 兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。		
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。		
		功 績 調 査 書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。		
		審 査 票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。		
7	連 絡 事 項 等				

死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（酒類業：酒造）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容			チェック	備 考
1	推 薦 基 準	べ ー ス 格 付	①	[Redacted]	①～③のすべてを満たすこと。
			②		
			③		
			④		
2	死亡原因	「推定死亡」に該当しないか。 交通事項、自殺、水死等、死亡原因に異常はないか。			推定死亡の場合は死亡診断書、死亡状況書の提出を要する。 死亡状況を確認するとともに新聞記事等の情報を入手し、庁人事課に推薦の可否について相談すること。
3	受章確認	遺族に受章の諾否を確認したか。			遺族が断った場合は推薦しない。
4	栄典協議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。			該当する場合は、栄典協議書を添付する。
5	栄典授与不適合者	候補者又は候補者に関する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）			該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
6	提出書類	刑罰書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。		提出部数 審査票：2部 その他 正本：3部（叙位のみの場合は2部） 写し：1部
		戸籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）		
		前叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。		
		履歴書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。		
		功績書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。		
	審査票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。			
7	連絡事項等				

死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（酒類業：卸売・小売）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	推 薦 基 準	付	①	①～③のすべてを満たすこと。
			②	
			③	
			④	
	格	①		
		②		
		③		
		④		
2	死亡原因	「推定死亡」に該当しないか。 交通事項、自殺、水死等、死亡原因に異常はないか。		推定死亡の場合は死亡診断書、死亡状況書の提出を要する。 死亡状況を確認するとともに新聞記事等の情報を入手し、庁人事課に推薦の可否について相談すること。
3	受章確認	遺族に受章の諾否を確認したか。		遺族が断った場合は推薦しない。
4	栄典協議	他省庁分野の経歴がある場合、当該他省庁と協議を行ったか。		該当する場合は、栄典協議書を添付する。
5	栄典授与不適合者	候補者又は候補者に関係する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
6	提出書類	刑罰書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 審査票：2部 その他 正本：3部（叙位の場合は2部） 写し：1部
		戸籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）	
		前叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履歴書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功績調書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。	
		審査票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。	
7	連絡事項等			

死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（元職）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	推 薦	ベース	4 G以上の官職の経験者でその期間が1年以上あるか。	現職死亡の場合は半年以上の経験で足りる。
		叙 勲	① 主要経歴が3 G官職の場合	
	② 主要経歴が4 G官職の場合			
	基 準	判任官 推 定		判任官推定は判任官期間と高等官期間の合計期間で判定する。
高等官 推 定				
3	懲戒処分等	懲戒処分（免職・停職・減給・戒告）を受けていないか。		免職・停職は推薦不可。 減給・戒告は推薦の際、弁明書を提出する。 ※自らの非行による処分の場合は推薦不可。
4	休 職 期 間			兵役による休職は除く。
5	死 亡 原 因	「推定死亡」に該当しないか。		推定死亡の場合は死亡診断書、死亡状況書の提出を要する。
		交通事項、自殺、水死等、死亡原因に異常はないか。		死亡状況を確認するとともに新聞記事等の情報を入手し、庁人事課に推薦の可否について相談すること。
6	受 章 確 認	遺族に受章の諾否を確認したか。		遺族が断った場合は推薦しない。
6	栄 典 授 与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
7	提 出 書 類	刑 罰 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。 「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	提出部数 審査票：2部 その他 正本：3部（叙位のみ場合は2部） 写し：1部
		戸 籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）	
		前 叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 郵便番号と住所に不一致がないか。	
		功 績 調 査 票	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。 他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。	
8	連 絡 事 項 等			